



## 国際シンポジウム

# 特別学校の子どもを取り残さない インクルーシブ教育の探求 ～南アジア2か国の検討から～



日時

2022年3月7日（月）16:30～19:30

会場

オンラインシンポジウム【Zoom meeting】

参加費

無料

■申し込みメ切：2022年3月5日（木）

南アジアに位置するブータンとスリランカは、面積・人口規模、宗教・文化において類似点が多い。今回、この2つの国をとりあげ、インクルーシブ教育という国際潮流の中で、特別学校をどのように包摂するか、そのプロセスについて比較検討する。また、両国からの報告のあと、低・中所得国における国際動向についても論ずる。

【企画・主催】

熊本大学 教育学研究科 古田 弘子  
広島大学 ダイバーシティ研究センター 櫻井 里穂

第1部 16:30～17:30

ブータンの  
インクルーシブ教育と特別学校

第2部 17:35～18:45

スリランカの  
特別学校の現場から

第3部 18:50～19:30

低・中所得国の概況  
総括

# 国際シンポジウム2022

## 特別学校の子どもを取り残さないインクルーシブ教育の探求 ～南アジア2か国の検討から～

### 【背景】

インクルーシブ教育を志向する新たな制度の下で、特別学校の役割をどう位置づけるかが問われています。通常の学校における障害児の教育参加を促進するインクルーシブ教育が国際潮流となりましたが、もともと多くの国で障害児の教育は、宗教を基盤とする民間団体が開設した特別学校で始まりました。現在多くの国で後景化する特別学校の子どもを取り残さない、そのようなインクルーシブ教育の構築が求められます。本シンポジウムでは、南アジアのブータンとスリランカという2か国をとりあげ、特別学校を包摂するインクルーシブ教育の構築に向けた両国のプロセスを、他の低・中所得国の状況も参照しながら比較検討します。

【日時】 2022年3月7日（月）16:30～19:30

【会場】 オンラインシンポジウム（Zoom meeting）

【参加費】 無料 ※申し込みメ切：2022年3月5日（土）100人になり次第締め切り

【使用言語】 英語のみ

【申込方法】 Googleフォーム：<https://forms.gle/QpHHvHxqkY9BdG5q6>

※お申し込みいただいた方にミーティングIDをお伝えします。

※申し込みがうまくいかない場合は下記にお問い合わせください。

[iesymp2022@gmail.com](mailto:iesymp2022@gmail.com)

【使用言語】 英語

【情報補償】 英語文字情報がつきます。

- |         |     |                          |
|---------|-----|--------------------------|
| ■シンポジスト | 第1部 | ブータンの特別学校校長（2校） & 教育省担当者 |
|         | 第2部 | スリランカの特別学校校長（3校）         |
|         | 第3部 | ポール・レンチ博士（グラスゴー大学）       |

### ■司会・コメンテーター

- |           |         |              |
|-----------|---------|--------------|
| 第1部       | 広島大学    | 櫻井 里穂        |
|           | 広島大学    | 川合 紀宗        |
| 第2部 & 第3部 | 熊本大学    | 古田 弘子        |
|           | ペラデニヤ大学 | セートウンガ・プラサード |

### ■後援

広島大学ダイバーシティ研究センター

2021(令和3)年度平和中島財団国際学術研究アジア地域重点学術研究助成

JSPS科研費国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B)）(21KK0039)